

分収契約延長業務

(分収林等施業転換推進事業)

契約満了後の適切な更新を確保するため、長伐期・針広混交林施業への移行を進める国庫補助事業（分収林等施業転換推進事業）に平成 29 年度から取り組んでいます。

1 事業の目的（長伐期・針広混交林施業への移行）

分収造林契約の満了後、伐採跡地を土地所有者に返還した際、適切な更新を図るため再造林を行う必要がありますが、土地所有者の方の諸事情により再造林が放棄される恐れもあり伐採跡地の裸地化が懸念され、森林の持つ公益的機能に発揮に影響を及ぼすことが考えられます。

このため、択伐（間伐）により林内空間の天然広葉樹の生育を促しスギと天然広葉樹との混交林へ誘導する長伐期・針広混交林施業へ移行して、主伐期にはスギは伐採するものの広葉樹は残し伐採跡地を裸地化させない施業体系への移行と移行には期間を要することから契約期間を延長する変更契約も含めて契約者の皆様からご理解とご協力をお願いしています。

2 事業の内容

- ① 契約者の相続や権利関係の確認作業、所在不明者の特定作業等。
- ② 長伐期・針広混交林施業への移行に向けた契約者との合意形成と変更契約に向けた取組み。

3 令和 4 年度の取組み

全県を対象に、契約期間の満期に到達する年度が早い団地から順次、契約者確認調査と針広混交林施業・契約期間延長への意向調査を、文書又は電話、個別訪問での対応等により実施します。

なお、取組みの実施にあたっては、当初契約から相当年数が経過し、離村や相続未登記、加えて個人情報の取扱い等により所有者の把握、確認が困難な状況になっていますので、情報提供のご協力をお願いします。

また、皆様からも長伐期・針広混交林施業への移行にご理解いただき、契約者の方から問い合わせ等がありましたらご連絡いただくなど重ねてご協力をお願いします。

契約者確認及び長伐期・針広混交林施業に伴う契約変更状況

対象件数	所在調査数	所在確認数	変更契約数	令和 4 年度計画	備考
5,283 件	78 %	54 %	45 %	500 件	

* 各項目の比率は、対象件数に対する割合